|  |
| --- |
| **タイトル（サブタイトルを含めて14ポイント、全角60文字以内）** |
| 〇氏名（10.5ポイント、左寄せ、筆頭発表者は氏名の前に○をつけてください。登録可能な最大著者数は筆頭発表者を含め10名です。）所属（10ポイント、左寄せ、登録可能な最大所属は10施設までです。） |

キーワード：（３～４ワード）

項目に沿って「介入型事例報告」を**MS P明朝　10.5ポイント、図表は含めず全角1,000文字以内**でまとめてください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名を用い（　）内に商品名と®を記載してください。このままフォーマットに沿って記載してください。また、文字数は、各自、文字カウントにてご確認の上、演題登録してください。また、発表要旨を提出する際は、本説明文および各項目に記載されている説明内容は全て削除してください。

**１．目的**：

**２．主訴**：主訴／問題，主訴／問題の客観化

**３．事例概要**：主訴/問題を軸とした臨床的問題の事実を、時間軸を置いて再構成記述、研究の倫理的配慮を記述する。

**４．アセスメント**：問題に関わる当事者のベースラインアセスメント

**５．ケースフォーミュレーション**： ベースライン時の問題の見立ての構成と定式化

**６．看護目標(セルフケア上の目標)**：看護介入によって達成可能な具体的セルフケアの目標

**７．看護計画**：介入技法の構成とプラン（6 と７は一緒の記載でも可）

**８．結果**：看護介入と反応の事実資料と目標達成の具体的成果

**９．考察**：フォーミュレーションの検証とより正確な問題の再構成を検討し、成果を考察する。

**１０．結論**：成果による最終的な事例理解のフォーミュレーションを再構成し、可能な変数間関係の定式化